

八幡商人の

まちなみ

市立資料館

郷土資料館

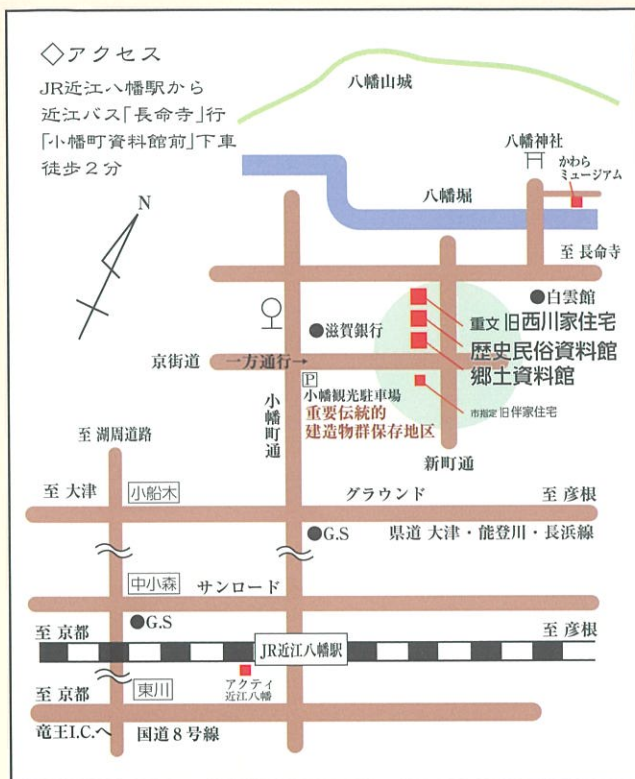
歴史民俗資料館

旧西川家住宅

《重要文化財》



重要伝統的建造物群保存地区（新町通り）



近江八幡市立資料館

（郷土資料館 歴史民俗資料館 旧西川家住宅）

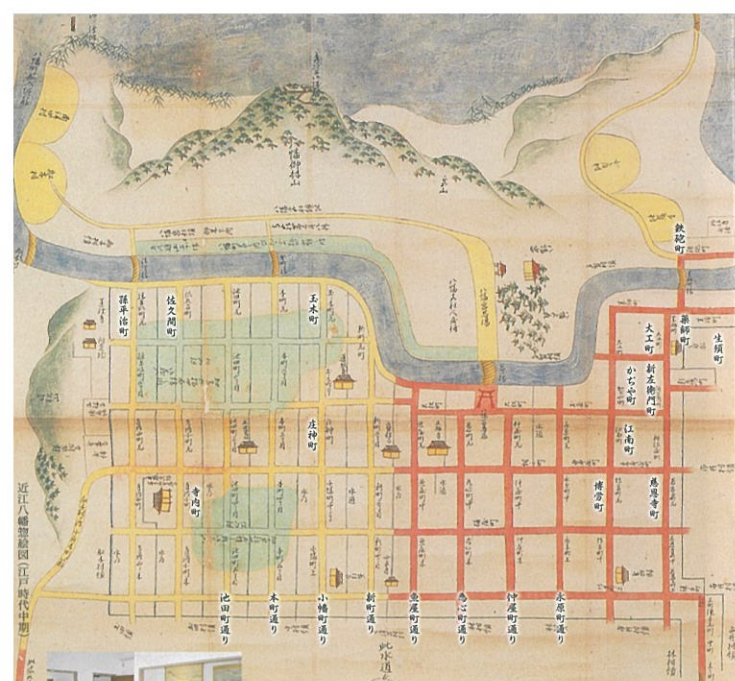
滋賀県近江八幡市新町2丁目22

TEL (0748) 32-7048 FAX (0748) 32-7051

指定管理者 株式会社かんてんジョイナス

- 【開館時間】 9:00～16:30（入館は16:00まで）
 【入館料】 一般 ¥500 小・中学生 ¥250
 団体（10人以上）… 一般 ¥400
 小・中学生 ¥200
 【休館日】 月曜日・祝祭日の翌日・年末年始
 （なお、5、6月と10、11月は無休）

※無休期間の拡大や夜間開館を実施することがあります。
 詳しくはお電話でお問い合わせください。



2階展示室

近江八幡市は、大中ノ湖や宮ヶ浜などの湖辺から数多くの石器・土器が出土している事や、古墳や遺跡も数多く発見されている事から、縄文時代の早くから開けていたと考えられる。その後天正13（1585）年豊臣秀次によって八幡山下町が開町された。

郷土資料館の展示は近江八幡市の歴史を紹介すると共に、近年まで使用していた諸職の道具や当地祭りをはじめ輩出した著名人の作品などを季節や行事に合わせて、入替展示している。

広場展示室

郷土資料館は西村太郎右衛門邸跡

西村太郎右衛門は屋号を錦屋と称し、蚊帳、木綿を扱っていた。

二代目嘉右衛門の次男として生まれ、太郎右衛門は角倉了以の御朱印船で長崎から安南（ベトナム）へ20才の時に渡り、鎖国の時代、日本に戻ったが上陸は許されず安南の地で没した。



中庭にある昭和28年改築記念碑

郷土資料館

近江八幡の歴史を紹介



ヴォーリズ建築様式の郷土資料館（正面）

<建物の紹介>

当郷土資料館は昭和 49 年、近江八幡警察署の敷地・建物の譲渡を受け開設された。建物は異国情緒ある洋風建築で昭和 28 年にヴォーリズ設計事務所により改築され、以後、大きな変更もなく当館に受け継がれた。また、当館の敷地はかつて安南（ベトナム）貿易で活躍した西村太郎右衛門邸跡とされている。

近江八幡市立資料館は当館（郷土資料館）、歴史民俗資料館、旧西川家住宅の 3 館からなり、当館はこれら各施設の維持と管理の拠点となっている。

<近江八幡の紹介>

近江八幡市は縄文時代の初めから人々が住みつき、古代、中世を経て戦国時代の織田信長が安土に城と城下町を築いた。



徒書(上：八幡山下町中 下：安土山下町中)

信長が滅んだ後、豊臣秀次によって八幡山に城と城下町が開かれたが、この時、安土城下町が住民と共に移されたとされており、これが後の八幡商人輩出の基盤となった。秀次の後は京極高次に引き継がれたが、開町後わずか 10 年で城は廃城となり、以後は在郷町として八幡商人の町となった。

尚、展示物は季節やイベント行事等によって入替展示となる。



1階展示室

歴史民俗資料館



受け継がれる商人魂

<建物の紹介>

当歴史民俗資料館は昭和 54 年、元近江八幡警察署長官舎であったものを譲り受けて開設された。建物は八幡商人の中でも豪商とされる森五郎兵衛の控え宅とされ、江戸時代末期の建築とされている。

<展示の紹介>

「近江商人」とは江戸時代近江国に本店を置き、全国で商活動をした商人達のこと、近江八幡「八幡商人」は近江商人発祥の一つとされている。天秤棒一つで日本全国を商売してまわり、江戸日本橋をはじめ当時の主要都市に出店（でみせ）を構えて活躍した八幡商人は、質素倹約、質実剛健のもとに信用を第一とした。

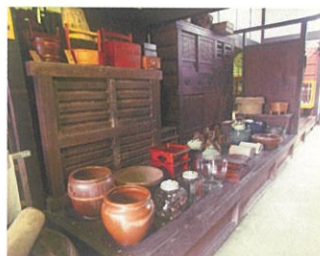
当館ではこれら八幡商人が代々伝えた商いの定め（家訓）や用具、日常品等を展示し、当時の商人文化を紹介している。



唐草模様の化粧道具



八幡商人の使用した道具類



台所の展示



おくどさん

旧西川家住宅 重要文化財



座敷



新町通り入口

「大文字屋」西川利右衛門

<建物の紹介>

西川利右衛門家住宅は江戸時代初めの宝永 3 年（1706）に建てられた京風の建物で、質素な中にも洗練された意匠を残している。蚊帳や畳表などを主に扱って財を成した西川家は 11 代約 300 年続いた当市を代表する近江商人で、屋号を「大文字屋」と称し、11 代浄氏の没後、当家を管理していた西川庄六家によって市に敷地・建物等が寄付され、昭和 58 年重要文化財の指定を受け、昭和 60 年に保存修理が行われて現在の建物となった。また、当家の蔵は天和年間（1681～1683）に建てられた全国的にも珍しい三階建て土蔵（三階蔵）となっており、往時の西川家の隆盛を偲ばせている。

<展示の紹介>

当館では主屋の居室と店の間を公開し、当時の八幡商人屋敷の内外を知っていただくと共に当館収蔵の 600 点にのぼる着物や往時の八幡の豪商が所蔵していた数々の調度類等を随時に展示している。



三階蔵